

ワクチン追加接種前倒しに向けた配分計画提示 及び濃厚接触者の待機期間短縮について

新型コロナウイルス感染症については、昨日、全国で 18,860 人の新規感染者が確認され、11 県で過去最多を更新した。特に、従来株と比べて感染力が強い「オミクロン株」の市中感染は全都道府県において確認されており、今後さらに加速度的に感染が拡大することが懸念されている。

こうした中、今般、国から、新型コロナワクチンの追加接種の前倒し実施の考え方と併せて、4 月までの追加接種に必要となるワクチンの配分計画が示され、また、濃厚接触者の待機期間を 10 日に短縮する方針が示されたことは、全国知事会からの要請を踏まえたものであり、迅速にご対応いただいたことを高く評価する。

一方で、接種の前倒しを行うに当たり、接種体制の見直しが急務となっている。地方は、地域の医師会等関係団体との協議を進めているところであるが、国としても、前倒し接種への協力、医療従事者の確保に向けて、関係団体に働きかけを行うとともに、必要となる財源を確実に措置することを強く求める。

全国知事会としては、オミクロン株による感染拡大の危機を乗り越えられるよう、国と一体となって、新型コロナワクチンの追加接種等に全力で取り組む決意である。政府におかれても、引き続き、追加接種及び交接種の必要性や安全性等について、正確かつ具体的で分かりやすい情報を積極的に発信するなど、国民の理解をさらに進めていただくようお願いする。

令和4年1月14日

全国知事会 新型コロナウイルス緊急対策本部

本部長・全国知事会会長 鳥取県知事 平井 伸治

本部長代行 福島県知事 内堀 雅雄

ワクチンチームリーダー 高知県知事 濱田 省司